



人数を制限しながらの開催となりましたが、少数ながら熱気みなぎる大会となりました。(国労大阪会館3階 2021・9・4)

晩夏の季節、いつ果てるとも知れない全国の新規感染者の数が毎日、テレビに映し出されている。無為無策のコロナ対策の中、菅首相が政権を投げ出した。強権政治と腐敗に対する国民の怒りに追い詰められた結果である。国民のなかには新しい政権をつくる願いが日々強まっている。

このような状況のもと、次の総選挙で自公政権を倒し、命を守る新しい政権の実現をめざすため「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」と立憲民主党、共産党、社民党、れいわ新選組が政策に合意した。4野党の政策提言(骨子)は次のとおりである。「命を守るために政治の転換を」として、1、憲法に基づく新型コロナウイルス対策の

強化 3、格差と貧困を是正する
4、地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行
5、ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現
6、権力の私物化を許さず公平で透明な行政を実現する、である。市民連合運営委員の法政大学の山口教授は、共通政策の合意で「本格的な野党協力の体制を確立できた。日本の民主主義を回復する貴重な一步だ」と位置付けている。市民連合は声明「野党共闘で自公政権を変えよう!」と、署名

『いのちと人間の尊厳を守る政治の『選択肢』をすみやかに示してください』を4野党に手渡した。私たち「同盟」は民主勢力の一翼として、「再び戦争と暗黒政治を許さない」のスローガンのもと、政策的合意の実現にむけて奮闘する決意である。(K.O)



大 阪 版
No. 475

発行所
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター全労連会館

大阪府本部
〒543-0045
大阪市天王寺区寺田町2-6-2
東大阪(ARK)ビル3F

TEL・FAX 06-6772-7555
振替 00910-6-53293
E-mail
tidousk@opal.plala.or.jp
大阪版ブログ URL
<http://doumeinews.exblog.jp/>

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認める」と

- 三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおなう」と

「市民と野党の共同」で総選挙に勝利し、

〔特別決議〕

「治安維持法犠牲者名簿・大阪」を広く普及し、
強大な同盟建設で府本部結成40周年を迎えよう

私たちは、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の中、感染防止に配慮しながら記念すべき第40回大阪府本部大会をここに開催しました。

来年3月13日に府本部結成40周年を迎える。これに合わせるように「時代に抗して光りを求めた人々—治安維持法犠牲者名簿・大阪」を発刊することができました。すべての会員が力をあわせて、この「犠牲者名簿」を一刻も早く多く団体、

個人に普及するために奮闘しましょう。

昨年9月に発足した菅自公政権は、学術会議会員任命拒否、改憲手続き法改定、土地利用規制・監視法の強行、1月に発効した核兵器禁止条約への署名拒否、従軍慰安婦問題における謝罪撤回など、

軍慰安婦の「従軍」をとる閣議決定と教科書への介入、何よりも「五輪・パラリンピックより命守れ」など国民多数の意見を無視する政治を強行し国民の支持を

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟第40回大阪府本部大会

新任のごあいさつ 府本部会長 大石 嘉美恵

新任のごあいさつ

府本部会長 大石 嘉美恵

40回大会で会長になつた大石喜美恵
です。よろしくお願ひ致します。

今期、同盟の大きな任務の「二つ」
は、署名の自主目標の達成です。会員
だれもができる活動です。「二つ」は、
全国2万の同盟に向けて、会員拡大を
すること。全国一の組織をもつ大阪の
責任は大きいと思つています。「三つ」
は、十年掛かりで完成させた1600
名近い治安維持法犠牲者名簿の普及で
す。弾圧に抗して闘つた先達の足跡を
学び、今日に活かすことが大切ではな
いでしょうか。団体・個人に大いに普
及しようではありませんか。「四つ」は、
年2回発行される「治安維持法と現代」
（定価・1000円）の購読と普及です。
現在の読者は約150名で会員の一割
にもなりません。時事問題の解説、情
勢学習コーナーやエッセイ、同盟活動
シリーズなど充実したものです。是非
ご購読ください。「五つ」は、来年上映
される「伊藤千代子」の歌が入つたC
Dの普及です。

これらを柱に取り組んでいきますの
で、格段のご協力よろしくお願ひ致し
ます。

9月4日コロナ渦の中、3か月遅れで第40回治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部大会が開催された。

第一部 国政報告会

大会前に、今秋行われる衆議院総選挙決起集会を行い。清水阪での現状、総選挙で政権交代、をとの訴えがあり、参加者全員

の任命、議案の
上程があり、甲斐事務局長代行
から活動報告・
運動方針が提案され
た。



第二部 大会

第二部 大会
大会は野間優子副会長司会のもと、一年間の同盟会員の物故者19名への黙祷が捧げられた。続いて柴田雅子副会長、田中勝巳理事両氏を議長に選出。次いで松本洋一郎会長が、日本的情勢と国賠同盟の現状を踏まえた挨拶、塩田事務局長急逝の後、会員みんなでより強い国賠同盟を目指す。

今年度の予算案の説明があつた。休憩の後は討論に移り、柏木功氏からは出版された「大阪の犠牲者名簿」について、中川由美子さんからは、此花区の支部結成について、山下修理事からは請願署名の動きについて、柴田副会長からは会費徴収の苦労話などが、それぞれ報告された。



第40回府本部大会開催

第40回府本部大会に寄せられたメッセージ・祝電 2021・9・4

伊藤千代子の会・大阪
会長 中田 進
大阪自治体労働組合総連合 執行委員長 有田 洋明
株式会社関西共同印刷所 代表取締役社長 竹村 知洋
国鉄労働組合大阪地区本部 執行委員長 辻 将城
自由法曹団大阪支部 支部長 藤木 邦顕

第40回府本部大会で選出された役員のみなさん

会長	大石 喜美恵 (堺)	梶本 利一 (平野)
副会長	佐野 彰義 (西・港・浪速) 柴田 雅子 (八尾・柏原) 中川 由美子 (此花) 野間 優子 (吹田・摂津) 眞殿 天童 (住吉)	加藤 嘉信 (天王寺) 北野 倫子 (西淀川) 岸野 令子 (貝塚) 木村 精一 (大東) 児玉 定俊 (枚方・交野) 小山 国治 (大東) 佐々木 雅博 (池田・箕面) 芝高 学 (八尾・柏原) 須山 朋子 (四條畷) 田中 勝巳 (高槻・島本) 為 仁史 (富田林) 辻村 惺 (茨木) 野原 真助 (平野) 浜田 紀男 (堺) 福田 耕 (天王寺) 本田 正勝 (堺) 松本 文男 (天王寺) 武藤 喜久子 (堺) 山下 修 (高槻・島本) 山本 一徳 (豊中) 横山 久子 (北・福島)
事務局長	甲斐 富貴雄 (茨木)	
理事	石川 典子 (羽曳野) 石束 保夫 (住吉) 五十川 和洋 (豊中) 岩佐 ダン吉 (岸和田) 岩下 美佐子 (中央・国際部) 上山 慧 (池田・箕面) 梅本 千代子 (東成) 大島 守 (枚方・交野) 大西 靖子 (大東) 大山 優子 (高槻・島本) 奥村 健二 (堺) 長田 純子 (淀川)	

監查	
大西 克佳	(八尾)
佐飛 淳一	(大東)
名譽会長	
柳河瀬 精	
有 川 功	
松 本 洋一郎	
顧問	
井上 敏江	
岩木 健次	
江口 章二郎	
津田 和彌	
林 直道	
橋本 恵美子	
藤木 博顕	
山田 芳一	

ジエンダー平等

女性の活躍に感心

茨木支部長 辻村 惇
9月4日、大阪国労会館での「府本部大会」に参加した。國労会館に来たのは何年ぶりだろう、昔のままだった、とても懐かしく昔を思い出したものだ。
参加して驚いたのは、女性の参加者が多く、多數は女性だった。新会長も女性、副会長5人のうち3名は女性の方が就任された。治安維持法を糾すという運動は、どちらかと云うと硬派の運動で、男性を中心との考えが僕にあつたが、そのような考え方、全くの偏見で、恥ずかしいが、僕のジエンダー意識の弱さ、遅れの顯れのように思つた。
この4月には、「安賀君子・炎の生涯とその群像」の著書が発刊され、そして今、「権力に抗して声をあげた乙女がいた」「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯」来年の完成をめざして、映画製作がすすんでい



新型コロナウイルス
感染症拡大の影響
により、昨年と同
じように、今年も
少人数で行われま
した。

大会には、来賓
として、日本共産
党から清水ただし
衆議院議員が来ら
れていました。

大会冒頭では、
清水議員から40分
ほど国会報告があ
りました。清水議
員は、わかりやす
く、ときにはユーモアをまじえなが
らおはなしをして

それによつて、テレビなどの
メディアは次期自民党総裁選挙
に関する報道で一色になつてしまつたような感じがあります。
しかし、私にしては、どの候補が自民党総裁になつても、結局は同じようなことになつてしまふのではないかと思ひます。
昨今の日本社会は、コロナ禍により、政府と国民、また国民のなかでも意見の対立や分断が進んでいます。
このような情勢を乗り越えるためにも、市民と野党の共闘による政権交代しかないと改めて思いました。

第40回府本部大会に参加して
ジエンダー平等
女性の活躍に感心

府本部理事

る。期せずして来年は、「国賠
同盟40周年」「日本共産党創立
100周年」にあたる。

どの時代にも歴史をつくるう
えで女性たちの活躍があつた。

左派と右派の共體上場

くださいました。そのため、会場からはたびたび笑いが起き、私も楽しく拝聴させていただき、固いイメージがあつた報告とは思えないほどでした。

て。 1945年4月、私はみんなに祝福されて念願かなつて女学校に入学しました。しかし私を待ち受けていた学園は、日増しに激しさを加えるB29の空襲の合間にをぬつて、ナギナタ、竹槍の猛訓練や防空演習の他、何もありませんでした。でも私たちはこれが国のためにだと、大和なでしことして鉢巻をしめて励みました。それも束の間、立派な名目による『大東亜共栄圏』のため祖国日本繁栄のためと銘うつ満蒙開拓団つまり分村開拓団』満州への移住命令で、父母と共に一家あげて北満の開拓団に入植しました。あとで知つ

生きた心地のしない旅でした。家財道具や寝具、衣類等もほどんどが、空爆や魚雷にやられ、現地についたのはほんのわずかでした。私は、現地の女学校に編入させて貰い、親兄弟と離れて寄宿生活にはいりました。広々とした満州平野の中に建つてゐる赤レンガの美しい大きな学校で、内地と違つて空襲のない平穏な環境で勉強できることに喜びを持ち、一生懸命励みました。しかしそれも一か月も続かず、ソ連との開戦直後には、ソ連国境に近かつた私たちの校舎は、兵舎と間違えられ、空と陸からの攻撃を受けました。（続く）

大阪府内の治安維持法犠牲者名簿（女性）

字数の関係上一部省略しています。あいうえお順です。(No 3)

(大石 喜美恵)

●梅木ちわ子（うめきちわこ 杉本英子）

1910(明治43)年6月19日生まれ。京都府出身。尋常小卒。17歳で鐘淵紡績に働き、労農党の演説会や山宣の労働学校に参加。31年、21歳のとき、洛北診療所(無産者診療所)で事務員兼看護婦見習いとして働く。診療所は1年ほどで閉鎖。33年夏入党。大阪で全協繊維のオルグとして城北地区、堺市の工場で組織化に努力。35年10月日本共产党入党。36年夏、阿倍野署に検挙される。黙秘を貫き、11月12日に起訴猶予となり釈放される。37年5月17日、京都下鴨署に検挙され、未決拘留1年6月(ママ)ののち、懲役3年6か月の判決を受ける。控訴し39年、2年執行猶予5年の判決で出所する。その後、卜部氏と結婚。夫が出征する中、埼玉に疎開し終戦を迎える。

本籍は広島県。高等女学校卒。1932年（昭和7）年4月プロレタリア演劇同盟大阪支部加盟の構成劇場に加入。演技部員、書記局員として活動する（杉本英子）。日本共産党機関紙「赤旗」を他人に配布したとして33年9月検挙されたが、事実を秘して釈放される。構成劇場は戦旗座と合同し戦旗劇場となり、その後弾圧により解消。35年10月大阪協同劇団の創立に参加、演技部員として活動する。37年10月上旬安賀君子、中山通子と共に進歩的職業婦人の教養を掲げて「かりがね会」を組織する。38年3月から、安賀から共産主義者団の文書を受け取り、大岡欽治（夫）らに配布する。

38年9月13日夫とともに検挙、翌年2月7日に起訴される（女優、31歳）

治安維持法で検挙・投獄された父（27）

著／眞殿 天童

卷之六

近松

戦後、入退院をくりかえす父の全身は拷問で受けた身体的不自由、獄中感染の「疥癬」などその後遺症が続きます。疥癬ってなに？連載15回目で書きましたが、敗戦直前に何の説明もなく巣鴨刑務所から釈放された父。全身疥癬で歩くことさえ不可能な状況でした。とにかく一步一歩地面を擦るように歩いて、三光汽船の東京事務所にたどり着き3日間眠りこけ体を休めました。「疥癬でやられた全身の肌は、傷跡に膿がたまり見られたものでなかつたようです。西宮の瀬尾病院で患者として友人になつた山代巴（小説『荷車の歌』の作者）は、出獄時歩行できず背負わされて出獄したそうです。

この疥癬跡は、戦後も全身に残ります。私が小学校6年生の

頃、自宅療養していた父は、初夏から秋口まで玄関横の物置場でタライに湯を入れ、硫黄の入った瓶から黄色い液体を入れて、タライ一面が薄黄緑色になりました。時々背中を流す全身にこすり付けるように浴びていました。身体についている白い斑点（シミ）模様が気になり聞いたことがあります。答えは、刑務所で感染した疥癬の跡だと言つていきました。この斑点は死ぬまで消えることなく父の身体のなかで活き続けました。

○疥癬で殺された哲学者、三木清

兵庫県の龍野中学弁論部で一緒に部活をした三木繁の兄、哲学者三木清は豊多摩刑務所で全身疥癬に蝕まれ、釈放の日を迎えることなく9月26日亡くなりました。この三木清の獄死は、権力によつて殺されたのも同然

往き続けました

三木清

治安維持法で検挙・投獄された父（27）

著／眞殿 天童

○戦後も続く獄中の疥癬（かいせん）

戦後、入退院をくりかえす父の全身は拷問で受けた身体的不自由、獄中感染の「疥癬」などの後遺症が続きます。

疥癬ってなに？連載15回目で書きましたが、敗戦直前に何の説明もなく巣鴨刑務所から釈放された父。全身疥癬で歩くことさえ不可能な状況でした。とにかく一步一歩地面を擦るように歩いて、三光汽船の東京事務所にたどり着き3日間眠りこけ体を休めました。「疥癬でやられた全身の肌は、傷跡に膿がたまり見られたものでなかつたようです。西宮の瀬尾病院で患者として友人になつた山代巴（小説『荷車の歌』の作者）は、出獄時歩行できず背負わされて出獄しました。この疥癬跡は、戦後も全身に残ります。私が小学校6年生の頃、自宅療養していた父は、初夏から秋口まで玄関横の物置場でタライに湯を入れ、硫黄の入った瓶から黄色い液体を入れて、タライ一面が薄黄緑色になり硫黄の匂いが漂つ湯につかり全身にこすり付けるように浴びていました。時々背中を流す時、身体についている白い斑点（シミ）模様が気になり聞いたことがあります。答えは、刑務所で感染した疥癬の跡だと言つていきました。この斑点は死ぬまで消えることなく父の身体のなかで活き続けました。

○疥癬で殺された哲学者、三木清

兵庫県の龍野中学弁論部で一緒に部活をした三木繁の兄、哲学者三木清は豊多摩刑務所で全身疥癬に蝕まれ、釈放の日を迎えることなく9月26日亡くなりました。この三木清の獄死は、権力によつて殺されたのも同然

で、その1週間後の1945年10月4日、GHQは「人権指令」を発表し治安維持法犠牲者は釈放されます。

この間の詳しい経過について
は、荻野富士夫著の『特高警察』
にGHQの「人権指令」の項に
書かれています。「ポツダム宣言」第10項後段には、「民主主義的傾向の復活強化に対する一切の障礙を除去」の文言があり、1945年9月2日の降伏文書調印に際し、バーンズ国務長官は「過去において眞理を閉ざしていた圧迫的な法律や政策の如き一切の障碍を除去」することに言及していた。(朝日新聞9/4)さらに、9月22日の「降伏後における米国の初期対日方針」では、「基本的人権、特に信教、集会、言論、出版の自由の尊重を増大するよう奨励」されるとして、法律や警察組織をそれらに適合させるよう、速やかな改革が明記されていた。しかし、連合国・占領軍から発せられた以上のような明確なメッセージを、内務省・特高警



一一三木清の墓碑銘

読者の文集

敗戦日

安村 和義

川柳

岩佐 ダン吉

『播州平野』歯車動く敗戦日

〈鶴彬・この一句〉(82)

ざん壕で読む妹を売る手紙

敗戦日どしゃ降り続く国の先

今朝の秋氣骨ある人声挙げよ

穏やかな列島失せりつくつくし

被爆船針路は非核りんどう忌

バラ終りメダルもなくて店閉じる
〈私の時事吟〉

短歌

武田 俊郎

コロナ不安づく

コロナ禍で外出自粛の日々なれど

支出は減らず年金を待つ

ワクチンの二回目ようやく打ちたれど

安心できぬとニュースに見入る

8月31日現在

会員 1,948名
個人署名 421筆
団体署名 1団体

投稿のお願い

「不屈」はみなさんの機
関紙です。
身近な出来
事・国賠同盟に
対する意見や
メッセージな
ど、お寄せください。



今月は大会特集号。同盟の大
会は慣習的に例年6月開催でし
たが、コロナの影響で2年連続
9月に延期となりました▼4月
の年度替わり、5月の国会請願
を経ての6月の府本部大会開催
で、運動の流れを切らずスムーズに運営できていたのですが、
ここ2年間は理事会も中止にな
ることが多く、活動が途切れ途
切れになっています▼府本部は
この大会で会長も事務局長も交
代して新体制となりました。心
切になつています▼府本部は
機一転、運動の流れを再構築し
て、コロナ以前の活動スタイル
を取り戻したいものです。これ
については3面の会長新任挨拶
に詳しくありますので、どうぞ
お読みください▼4面の大会の
感想には、総選挙での躍進を誓
う思想と女性同盟員の活躍につ
いての感想が寄せられました▼
最後に、長年に渡り府本部事務
所に勤められた事務員の方を、
資金難により雇用できなくなつ
た事をご報告しなければならな
いのはとても残念です。(甲斐)

時代に抗して光を求めた人々

治安維持法犠牲者名簿・大阪



約10年をついやして名簿が完成しました。

戦後、歴代自民党政権は治安維持法を当時必要な法律だったとして、稀代の悪法と認めず、治安維持法体制のもとで行われた非人道的な権力犯罪を認めないまま、今日に至っています。

国が取りくまないもとで、私たちは自らの力で可能な限り治安維持法等による弾圧の実態を明らかにしたいと、この『犠牲者名簿・大阪』を作成しました。

この名簿を、弾圧の時代に恐れずに立ち上がった先人たちの闘いをしのび学ぶための本として、また、私たちの闘いの資料として座右に置いて頂きたいものです。

この名簿を、弾圧の時代に恐れずに立ち上がった先人たちの闘いをしのび学ぶための本として、また、私たちの闘いの資料として座右に置いて頂きたいものです。

時代に抗して
光を求めた人々

治安維持法犠牲者名簿・大阪

◎発売 199月4日
○価格 A5判 / 472頁
A5判 / 4000円

治安維持法賠償同盟大阪府本部 〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町2-6-2 東大阪(ARK)ビル3F
電話・FAX / 06-6772-7555 E-mail / tidousk@opal.plala.or.jp
振込先【郵便振替口座】00900-9-140547
加入者名 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部

治安維持法賠償同盟大阪府本部 FAX: 06 (6772-7555)	
(住所)	注文数
(お名前)	(お電話)
	冊